

群馬の畜産

みんなの情報室

第 304 号

発行日 平成22年2月

(社)群馬県畜産協会 前橋市亀里町1310／電話027(220)2371／FAX027(220)2372／発行人 奥木 功 男
 群馬県畜産協会ホームページ <http://www.chikusankyokai.or.jp/>

平成 22 年度畜産物価格及び関連対策

—速報—

政府の平成 22 年度の畜産物価格及び関連対策が 2 月 24 日に発表となりました。おもな畜産物価格と主要関連対策事業について掲載します。

加工原料乳生産者補給金単価 11.85 円/kg

鶏卵補てん基準価格 181 円/kg

食肉安定価格

	安定上位価格	安定基準価格
[牛肉]	1,060 円/kg	815 円/kg
[豚肉]	545 円/kg	400 円/kg

肉用子牛の保証価格・合理化価格

	(保証基準価格)	(合理化目標価格)
黒毛和種	310 千円/頭	268 千円/頭
その他肉専	204 千円/頭	142 千円/頭
乳用種	116 千円/頭	83 千円/頭
交雑種	181 千円/頭	138 千円/頭

関連対策事業

(1) 肉用牛繁殖経営支援事業【新規】

- ・肉用子牛の平均売買価格が発動基準を下回った場合に販売、保留した契約子牛に差額の 3/4 を交付する。(平成 22～24 年度)

(2) 肉用牛肥育経営安定特別対策事業【新規】

- ・四半期ごとの肥育牛 1 頭あたりの粗収益が生産費(いずれも全国平均)を下回った場合、その差額分の 8 割を補てん金として交付する。(平成 22～24 年度)

(3) 養豚経営安定対策事業【新規】

- ・豚枝肉の全国平均価格が、生産コストに相当する保証基準価格を下回った場合に差額分の 8 割を補てん金として交付する。(平成 22～24 年度)

(4) 酪農経営安定化支援ヘルパー事業【組替】

(5) 多様な肉用牛経営実現支援事業【組替】

(6) 地域養豚振興特別対策事業

(7) 家畜飼料特別支援資金融通事業(延長)

新年度に県が対策《地域獣医療支援》

産業動物を診療する獣医師確保対策として、奨学金制度を創設することになりました。県内で小動物を扱う診療獣医師数は 190 名ですが産業動物診療関係は 61 名で 1/3 にも満たない状況です。(平成 20 年獣医師届出より)群馬県は畜産が盛んな県であるだけに、産業動物診療獣医師減少は、疾病発生時や家畜伝染病発生時対応に支障が懸念されています。県では(社)中央畜産会が実施する「産業動物獣医師修学資金給付事業」を利用する獣医大学の学生に対して補助を行い、産業動物診療獣医師を目指す学生の修学資金を支援するものです。事業は群馬県畜産協会が事業主体となり実施することになります。

目次

『支援のちから結集』に感謝！

豚肉の出荷価格の低迷が続き、養豚県である本県の生産者に大きな影響を及ぼしています。これは疾病対策が進み生産回復による在庫の増加と、不況による消費の伸び悩みが原因と云われています。農水省統計部の生産量では、豚価が下がり始めた平成 20 年の 9 月以降断続して対前年比 100%を上回っています。

特に平成 21 年度は毎月前年を上回った生産量(101.1～110.2%)となっています。輸入量は減少しているものの、卸売価格は連続して低下(98.7～68.8%)しています。一方、国産豚肉の小売価格は、卸売価格の低下に比べれば僅かな低下(96.5～101.6%)に過ぎません。また、今後の肉豚出荷予測は表の通り前年を下回る月はありません。むしろ 4～6 月期は再び増加する予測です。

肉豚生産出荷予測 (H22.1.29 農水省畜産部食肉鶏卵課)

	1月	2月	3月	1～3月	4月	5月	6月	4～6月
全国出荷	1,420	1,328	1,410	4,158	1,432	1,347	1,365	4,144千頭
予測頭数	100	100	100	100	101	103	100	101 %
	103	101	101	102	106	102	107	105

注 1：予測頭数上段は、月々の出荷頭数の対前年比、下段は月々の出荷頭数の過去 5 年平均との比率を示したものの。

2：各都道府県における平成 21 年 11 月末日までの調査結果等をもとに、全国的肉豚出荷の動向を予測したものの。

このような状況のもと、関係者で話し合い緊急支援対策を実施することにしました。

一つ目は資金や経営相談を行う「緊急相談窓口」を農業事務所や畜産協会に設置しました。二つ目は補てん財源不足になる肉豚価格差補てん事業に国が追加対策で豚価 440 円/kg までの差額の半분을補てんして貰えることになりましたが、群馬県畜産協会では補てん財源を確保して、独自対策（4 頁に内容記載）を実施することにしました。また、国では昨年 10 月から今年 3 月まで豚肉の調整保管を 6 年ぶりに発動しました。しかし、基本は食べることで、保管後も食べなければ減らないため、三つ目に消費拡大運動を実施することにしました。県養豚協会が取りまとめましたが、関係者の皆様の反応が良く、僅かな期間で協力が得られ多くのご注文をいただきました。声を掛けた方から殆ど注文していただき、数kgから十数kgを購入していただきました。合計約 2 t という量は、支援しようと云う熱い気持ちの結集だと思います。今後追加対策を考えなくても良いように早い回復が待たれます。多くの関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

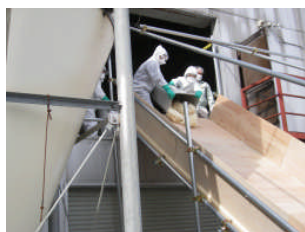
(2010.2.5 苔米地達生)

県内で初の高病原性鳥インフルエンザ防疫実地演習を実施

県と群馬県畜産協会は、県養鶏協会、県種鶏孵卵協会、日本養鶏生産者協会群馬支部協賛のもと、平成 21 年 11 月 5 日(金)崎市の養鶏場において「高病原性鳥インフルエンザ防疫実地演習」を行いました。

万一、高病原性鳥インフルエンザが発生した時、迅速でかつ的確な防疫、消毒作業と作業従事者の感染防止対策の重要性をふまえ、県や市町村、農協、養鶏生産者ら関係者 90 人が参加し下記の作業手順で演習を行いました。作業手順①防護服の着用演習 ②殺処分の流れを確認 ③役割分担 ④殺処分開始（鶏 1000 羽の殺処分、鶏の箱詰め、運搬トラックへの積み込み）これらの作業を県職員を中心とする作業者が交替で実施した。⑤殺処分作業終了後の清掃消毒 ⑥防護服の脱ぎ方演習を行った。

焼却試験は翌日、県内 2 箇所の焼却場において、①前日の殺処分鶏の投入 ②投入後の炉内における焼却状態の観察を行った。



消費者交流会を開催（地域畜産ふれあい体験交流活性化事業）

本会は、消費者親子を対象とした国産畜産物の交流会を、応募者約240人の中から厳選なる抽選を行い、二日間合計で約90人の参加を得て実施しました。各交流会の詳細は以下の通りです。

●「県産豚を使ったソーセージの加工処理、酪農生産現場見学」平成22年2月20日（土）約50名

前橋市にある「とんとん広場」は福豚のふるさと、林牧場の豚肉を使用しています。林牧場では、最新設備の整った豚舎でストレスなく健康にのびのび育つように、豚舎内洗浄や殺菌など徹底した温度管理や防疫対策を行っています。この福豚の新鮮な豚肉とスパイス、そして天然の羊腸を使って、ウィンナーソーセージづくりを体験しました。

豚挽肉に水・スパイスを加えてよくこね子供達は大はしゃぎ。水鉄砲のような器具に羊腸を付けて肉を押しだしますが、なかなかうまくいきません。「空気がはいっちゃったー」と失敗を繰り返しながらも一生懸命作っていました。腸詰めが終わり、ボイルしている間、普段見ることの無いミニブタとふれあい、林専務が豚に関するクイズを出して積極的に子供達が答え、単なる畜産加工にとどまらず広く養豚の勉強が出来たことは、意義の深いものとなりました。

次に、大崎牧場の牛舎内につながれた40頭の牛を見学し、牛の大きさ、牛に触れての感動を経験しました。牧場主から健康管理の大変さや餌の保存方法、搾ったミルクの衛生・温度管理、堆肥の処理を説明されました。参加者は「汚いイメージだった牛舎はとても清潔で、労働・衛生管理に気を付けながら、本来は子牛に与えるお乳（牛乳）を私たちに提供してくれて、牛と生産者に感謝しなくては」と話していました。



●「畜産物を使った料理講習」平成22年2月21日（日）約40名

料理専門家である石垣先生の指導により①「トーンでびっくりサンド」、②「ペンネラグー」、③「ぎゅーとおにぎりビビンバ」の3料理に挑戦しました。子供のなれない手つきに心配しながらも、出来上がった料理をおいしいね！とほおばり、「身近な材料で協力して作り、おいしくいただきました」と話してくれました。多くの一般消費者の皆さんが、県内畜産業に対し身近に感じてもらうことにより、広く国産畜産物の消費拡大推進及び理解醸成を実施していききたいと思います。





肉豚価格差補てん緊急支援特別対策事業

国の追加対策（養豚経営緊急支援追加対策事業）と併せて、群馬県独自の体制で平成 21 年度内について補てん金の満額交付を継続実施します。

1. 平成 21 年度（地域保証価格 490 円/kg、交付限度額 2,100 円/頭）の交付実績

項目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
指標価格(円)	412	475	500	473	380	389	366	382	452
補てん日数(日)	20	14	9	11	19	20	21	19	14
補てん頭数(頭)	18,181	13,737	8,476	10,896	16,916	19,345	21,533	20,473	14,898
補てん金額(千円)	37,721	23,240	8,526	17,003	35,523	40,083	45,219	42,993	31,052

2. 養豚経営緊急支援追加対策事業（国）による追加補てん金（新規事業）

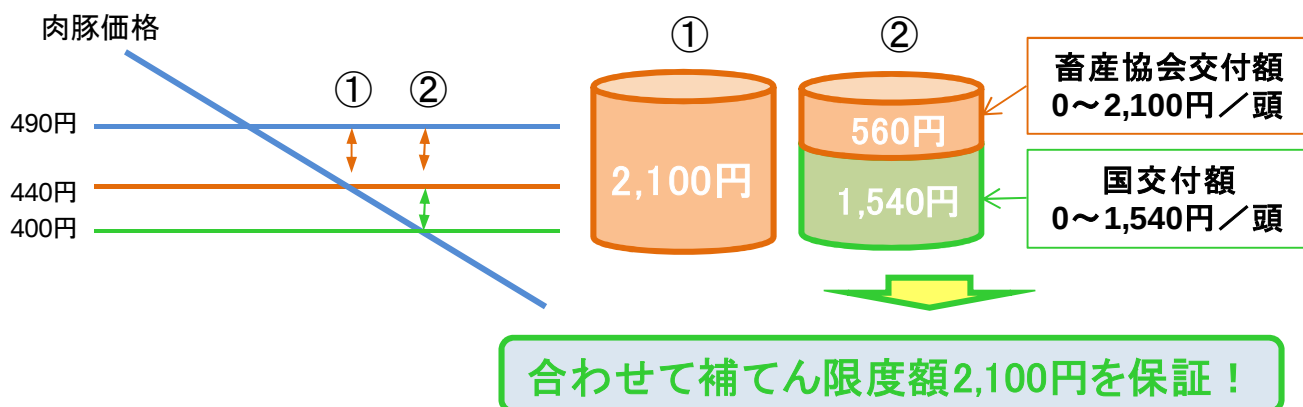
肉豚価格差補てん事業は、あらかじめ生産者、県、国等が積み立てた基金から、肉豚価格が低落し、地域保証価格を下回った場合に、補てん金を交付する事業です。

しかし、上表のように価格の低迷が継続しているため、肉豚基金の不足を生じる事態となり、国はこれに対応するため、平成 22 年 1～3 月期に出荷された肉豚に対し、肉豚価格（省令価格）が 440 円/kg を下回った場合、その差額の 1/2 に 77kg（1 頭当たり基準枝肉重量）を乗じた額、つまり 1 頭当たり限度額 1,540 円の養豚追加補てん金を交付する「養豚経営緊急追加対策事業」を実施することとしました。

3. 群馬県畜産協会と国による補てん金の交付

群馬県畜産協会としては、国の緊急対策に併せて本県独自の体制で、契約頭数全頭を対象として 2,100 円を限度とした補てん金の交付を継続して行うこととしました。その体制のイメージは下表のとおりです。

肉豚価格(円/kg)	～400 円	420 円	440 円	470 円	490 円～
国交付額	1,540 円	770 円	0 円	0 円	0 円
畜産協会交付額	560 円	1,330 円	2,100 円	1,500 円	0 円
交付額合計	2,100 円	2,100 円	2,100 円	1,500 円	0 円



肉用子牛生産者補給金制度

乳用種は合理化目標価格を下回る！（平成21年10～12月期）

肉用子牛生産安定等特別措置法（昭和63年法律第98号）に基づく肉用子牛生産者補給金制度の平成21年1～12月の品種ごとの指定肉用子牛平均売買価格は次のとおりです。

乳用種は連続して下落。ついに、当四半期は合理化目標価格を下回る結果となりました。

		黒毛和種	褐毛和種	その他肉専用種	乳用種	交雑種
保証基準価格		310,000	285,000	204,000	116,000	181,000
合理化目標価格		268,000	247,000	142,000	83,000	138,000
平成21年 1～3月	平均売買価格	368,800	261,300	227,700	92,600	186,600
	補給金単価	—	23,700	—	23,400	—
平成21年 4～6月	平均売買価格	351,300	288,600	213,900	87,300	194,700
	補給金単価	—	—	—	28,700	—
平成21年 7～9月	平均売買価格	355,100	284,100	209,500	84,300	192,600
	補給金単価	—	900	—	31,700	—
平成21年 10～12月	平均売買価格	364,700	260,800	145,200	81,200	218,200
	補給金単価	—	24,200	58,800	34,620	—

畜産経営改善のための支援表彰事業

平成21年度畜産大賞業績発表・表彰式が東京で開催されました。

2月8日、平成21年度畜産大賞業績発表・表彰式が開催されました。総計3部門9事例が受賞となり、地域畜産振興部門の鳥取県畜産農業協同組合が畜産大賞を受賞しました。

群馬県からも地域畜産振興部門2事例を推薦し、優良賞を受賞しております。それらの推薦ポイントは以下の通りです。本事業は来年度も行いますので、優良事例をご存知の方は推薦をお願いします。

なお、下記受賞事例の詳しい内容については、畜産協会ホームページをご覧ください。

<http://www.chikusankyokai.or.jp/project/grandprix/index.html>

財団法人群馬県農業公社（優良賞）

- ・群馬県内コントラクター組織の先駆け
- ・粗飼料自給率向上への取り組み
- ・耕畜連携の促進
- ・広域流通システムによるWCSの供給



館林市酪農振興協議会（優良賞）

- ・酪農家同士の協力連携による乳牛改良
- ・渡良瀬川河川敷の有効利用
- ・地域環境美化、耕作放棄地の利用
- ・半世紀にわたる仲間との活動



(有)バイオトラスト軽井沢牧場が名誉賞！！

平成 21 年 11 月 14、15 日に神奈川県家畜集合センター（綾瀬市）において、第 15 回関東地区ホルスタイン共進会が開催されました。本県より、未經産 8 頭、経産 7 頭の計 15 頭が参加し、シンボル ブレット カーレイ(有)バイオトラスト軽井沢牧場所有)が経産の部において見事、名誉賞を獲得しました。なお優等賞以上の結果は以下の通りです。



	各号	所有者	結果	備考
第 3 部	クリアー KL アストロ マック	桐生市 星野 章好	優等賞 2 席	
第 3 部	ナカコー L デキスターグリーン	中之条町 中之条高校	優等賞 3 席	
第 5 部	リスペクト クラーク ダーハム クリステル	みどり市 三輪 圭吾	優等賞 2 席	ベストアダー
第 6 部	ラブ・リファーム スターバック ダーハム テリア	高崎市 長坂 仁司	優等賞 3 席	ベストアダー
第 7 部	シンボル ブレット カーレイ	長野原町 (有)バイオトラスト軽井沢牧場	優等賞 1 席	名誉賞
第 7 部	ブルーエンゼルス チャットリゲス	長野原町 (有)萩原牧場	優等賞 3 席	

◎第13回全日本ホルスタイン共進会（ in 北海道 ）

10月8日～11日の4日間、5年に1度の乳牛の祭典、「全日本ホルスタイン共進会」が、ホルスタイン牛の本場、北海道勇払郡安平町早来新栄 共進会場で開催されます。県内の農家さん達の出品意欲も徐々に上がり、前回の栃木大会で受賞した優等賞 4 席に、追いつけ追い越せの勢いで頑張っています。

本県でも出品対策として、3月8日に北海道から講師先生を招いて、毛刈りの講習、リードの講習を群馬県畜産試験場で開催するなど、出品技術の向上に取り組んでいます。

主催：社団法人 日本ホルスタイン登録協会

参加：各都道府県

会期：平成 22 年 10 月 8 日(金)～平成 22 年 10 月 11 日(月)

会場：北海道勇払郡安平町 共進会場

出品頭数：ホルスタイン種 380 頭、ジャージー種 40 頭

群馬県出品頭数：未經産牛 5 頭、経産牛 5 頭

後代検定娘牛 1 頭 高校等特別枠 1 頭



第 12 回全日本ホルスタイン共進会
優等賞 4 席 上谷川憲一 氏 出品

◎第 10 回全国和牛能力共進会

開催テーマ:「和牛維新! 地域で伸ばそう生産力 築こう豊かな食文化」

第 9 回全和牛能力共進会が鳥取県米子市で行われてから早くも 2 年半近くになります。初めて群馬県から優等賞牛が選ばれて大変に興奮したものでした。現在は第 9 区に出品する去勢肥育牛を生産するために交配を行っています。交配する種雄牛は P 黒 493 茂勝栄、P 黒 602 福安照、P 黒 612 菊花国の 3 頭を選抜しています。和牛産地の県では相当熱が入ってきています。群馬県も負けずに頑張っていきましょう。

主 催: 社団法人 全国和牛登録協会

運営団体: 第 10 回全国和牛能力共進会長崎県実行委員会

参 加: 全国 38 道府県

会 期: 平成 24 年 10 月 25 日(木)～平成 24 年 10 月 29 日(月)

会 場: 種牛の部: 長崎県佐世保市: ハウステンボス

肉牛の部: 佐世保市食肉地方食肉卸売市場

島原会場: 長崎県島原市: 島原復興アリーナ

出品頭数: 種牛 313 頭, 肉牛 178 頭, 合計 491 頭

群馬県出品頭数: 若雌牛第 2 区: 1 頭、若雌牛第 3 区: 1 頭、

去勢肥育牛第 9 区: 2 頭、出品頭数計 4 頭

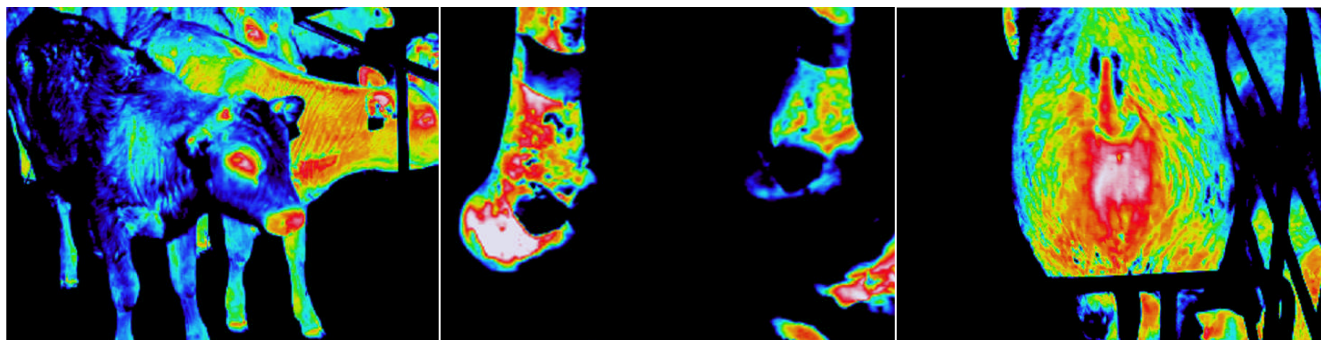


◇トピックス (機器情報)

動物用一般医療機器 サーマグラフィ装置について

昨年12月に畜産協会内で当機器の説明会が行われました。本装置は空港で発熱した人の発見で活躍している機器と同じで、家畜に応用すると家畜に全くストレスを与えないで様々な情報を得ることができるものです。通常、家畜の体温測定は直腸温を測定していますが、直腸温が変化するときには生体反応はかなり進んでいると云うこともあります。

生体変化による体表面の温度変化を早く見つけ、早期に対応することで疾病を未然に防いだり、重篤にならずに済めば経営的な損失も少なくて済みます。また、分娩前後や発情期における温度変化を知ることが繁殖管理に役立つようです。群馬県畜産試験場でもこの装置を用いて研究課題「体表温度の観察による豚の省力管理技術の開発」を平成22年度から開始することで検討されています。



子牛の体表温が著しく低下しています。 蹄の炎症を高温観察で発見出来ます。 豚の発情時期を知ることが出来ます。

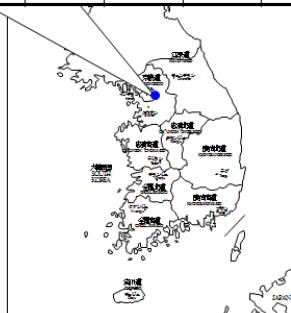
◎ 隣国で口蹄疫が発生しています。

今年に入って再び口蹄疫が発生しています。日本に近いだけに油断は出来ません。国や県でもこの病気の侵入防止に万全を期しています。生産者や関係者の皆様におかれましては、発生地における畜産農家への訪問等の自粛は勿論のこと、他の病気の侵入防止も併せて畜舎や器具・車両などの消毒、農場への人の出入りなどについても十分な注意が必要となります。

● 韓国における口蹄疫発生に関する情報

- 1) 2010 年 1 月 7 日韓国で、2002 年以來の口蹄疫の発生が確認された（下図）。
- 2) 185 頭の乳牛を飼養している農場で 6 頭の発症が確認された。
- 3) 防疫措置は摘発淘汰および予防的殺処分とし、ワクチン接種は行っていない。
- 4) 1 月 11 日までに発生農場の 185 頭および半径 500m 以内の農場の感受性動物 324 頭が淘汰された。
- 5) 遺伝子解析で流行ウイルスは東南アジア・中国で流行している A タイプウイルスと近縁と報告された。

発生数	発生日	場所	血清型	畜種	飼養頭数	発生頭数	死亡頭数	淘汰頭数
1	2010.01.07	京畿道抱川	A	乳牛	185	6	0	185
2	2010.01.13	京畿道抱川	A	在来牛	15	2	0	34
3	2010.01.15	京畿道抱川	A	乳牛	56	6	0	56
4	2010.01.15	京畿道抱川	A	乳牛	54	2	0	54
5	2010.01.18	京畿道漣川	A	在来牛	34	4	0	34
6	2010.01.30	京畿道抱川	A	乳牛	81	9	0	81



- 6) 13 日、疫学的に関連のある農場で 2 例目の発生が確認された。
- 7) 1 例目の感染経路について調査中。
2 例目は人の移動による伝播の可能性が示唆されている。
- 8) 16 日、3、4 例目の発生が確認された。
- 9) 20 日、5 例目の発生が確認された。初発の農場から 9.3 km 離れ、サーベイランスゾーン外での発生。
- 10) 30 日、初発農場から 3.8km 離れた乳牛飼養農場で 6 例目が発生が確認された。

(動物衛生研究所より 2010 年 2 月 2 日更新)

● 中国における口蹄疫発生に関する情報

- 1) 2005 年の初発生以来、中国本土で口蹄疫（Asia1 タイプ）が断続的に発生。
- 2) 2009 年 1 月以來、4 つの省で A タイプの口蹄疫が発生し（牛）、今後も感染の拡大が懸念される。
- 3) 発生農場では全ての家畜の淘汰が行われている。

(動物衛生研究所より

2010 年 1 月 29 日更新)

東アジアにおける口蹄疫の発生(2009-2010)

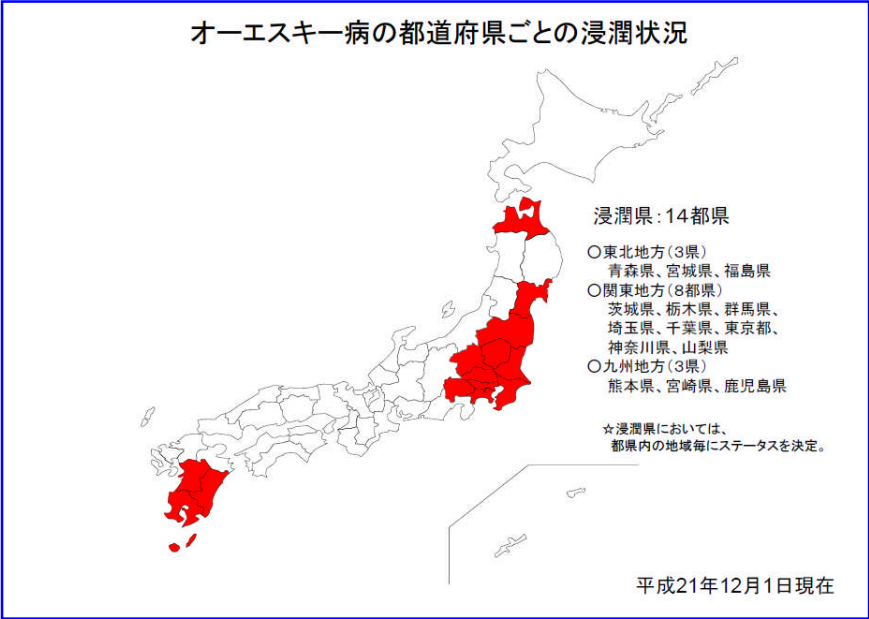


◎ 豚オーエスキー病の清浄化推進について

群馬県においてオーエスキー病が昭和 6 2 年の初発生以来、異常産や哺乳豚が死亡するなど、生産性を低下して養豚経営に対する経済的被害は大きく、精神的苦痛と併せ甚大な影響を及ぼしてきました。

この病気はワクチン接種をすることで発生を予防することができます。また、海外や他県の事例からも清浄化することは技術的に可能です。清浄化するメリットは、ワクチン接種に掛かる負担の軽減や本病の被害を防ぐだけでなく、他の疾病被害を減らす効果も期待することができます。

現在、県では平成 1 8 年度からの 5 年間で、県内の全養豚農家の清浄化を目指しています。このため、



(社)群馬県畜産協会では清浄化への取組支援をおこない、早期の清浄化達成を後押ししています。

次ページの **Q&A** は、生産者の皆様のご理解とご協力を頂くために群馬県オーエスキー病対策協議会で作成しました。紙面の都合で一部の掲載しかできませんが、生産者の皆様にはパンフレットをお届けしています。ぜひご活用下さい。(図表は農水省 H P から)

オーエスキー病の地域区分及び清浄化段階(ステータス)

平成 21 年 12 月 1 日現在					
	地域区分数	清浄化段階(ステータス) 毎の地域数			
		I : 清浄化対策準備段階	II : 清浄化対策強化段階	III : 清浄化監視段階	IV : 清浄段階
全国	1485	79 (5%)	337 (23%)	83 (6%)	986 (66%)
浸潤県 (14 都県)	830	79 (10%)	337 (41%)	83 (10%)	331 (40%)
東北地方	235	2	52	23	158
青森	102	0	28	14	60
宮城	59	1	18	0	40
福島	74	1	6	9	58
関東地方	429	61	211	57	100
茨城	117	26	66	25	0
栃木	85	1	65	15	4
群馬	55	0	33	6	16
埼玉	42	27	9	6	0
千葉	79	6	18	4	51
東京	10	1	2	1	6
神奈川	38	0	17	0	21
山梨	3	0	1	0	2
九州地方	166	16	74	3	73
熊本	3	0	0	2	1
宮崎	37	0	26	1	10
鹿児島	126	16	48	0	62
清浄県 (33 道府県)	655	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	655 (100%)

I (清浄化対策準備段階) : 地域内に本病の発生又は感染豚の摘発がある。かつ清浄化に向けた飼養豚全頭へのワクチン接種が行われていない。

II (清浄化対策強化段階) : 地域内に本病の発生又は感染豚の摘発がある。かつ清浄化に向けた飼養豚全頭へのワクチン接種が行われている。

III (清浄化監視段階) : 本病の発生及び感染豚の摘発がなく、ワクチンを中止しており、かつ清浄性の確認(監視)を行っている。

IV (清浄段階) : ワクチン不使用で 1 年以上感染豚が確認されていない等、清浄と判断される段階。

○ 豚オーエスキー病清浄化推進 ” Q & A ”

Q 1 豚オーエスキー病とはどんな病気ですか？

A 1 肥育豚では発育障害、妊娠豚では発熱、食欲不振、死産・流産、ほ乳豚では嘔吐・下痢・けいれん等の神経症状を示し死亡するものが多い病気です。生産性を著しく低下させることから、届出伝染病に指定されています。また、有効な治療法はないため、清浄化のためには地域ぐるみでの対応が必要となります。

Q 2 なぜオーエスキー病の清浄化を進めるのですか？

A 2 現在、国内ではPRRS、サーコウイルス感染症などがオーエスキー病の病原体と複合的に絡みあい、生産性を阻害する慢性疾病が問題となっています。清浄化の目的はこれらの慢性疾病を抑え、生産性を向上して低コスト化を図り、収益性を高めることにあります。

Q 3 何回かワクチン接種していますが、どうして清浄化できないのですか？

A 3 本病の原因ウイルスは、一度感染すると体内に残り、沈静化したように見えても豚の状態によってはウイルスの排出を繰り返す可能性があります。従って、ワクチン接種をおこなうと共に野外抗体陽性豚（ウイルスを保有する豚）を排除することが重要となります。

Q 4 ワクチン接種はお金が掛かるけれどどんな支援策がありますか？

A 4 オーエスキー病の清浄化の推進について、コンセンサスの得られた地域（ステータスⅡ）における飼養豚全頭へのワクチン接種について、原則、対策開始後3年間、接種に対する補助と奨励費が交付されます。

解説

全頭接種補助金及び奨励費は、グループを構成する全ての生産者について、平成21年4月1日から平成22年3月31日の間に、対象となる豚全頭にワクチンを接種したことが確認された場合に、次の補助金及び奨励費が交付されます。中央畜産会から46円（家畜生産農場清浄化支援対策事業）、群馬県から20円（家畜衛生対策事業）、1頭当たり合計66円が支援されます。（平成21年度）

Q 5 野外抗体陽性豚がいても被害は感じませんが、それでも清浄化は必要ですか？

A 5 オーエスキー病は、「目に見えない被害」とも言うべき生産性の低下とともに、繁殖にも大きな影響を与える伝染病であるため、早期に清浄化を進めることが必要です。

Q 6 野外抗体陽性の繁殖豚を更新したいと思いますがどんな支援策がありますか？

A 6 オーエスキー病の清浄化推進のため、野外抗体陽性の繁殖豚を自主とう汰する家畜飼養者に対して、とう汰実績に応じた補助金が交付されます。

解説

とう汰奨励費はオーエスキー病野外ウイルスに感染していることが確認された繁殖豚をとう汰した場合に、とう汰時の評価額（肉、皮、毛、臓器等利用額が生じた場合は、その額を差し引いたもの）の2/3に相当する金額が家畜生産農場清浄化支援対策事業で交付されます。

Q 7 清浄化できた他県では、どの様にして達成しましたか？

A 7 近年、東北2県（秋田県、岩手県）が撲滅を達成しましたが、それは、「ワクチン接種」と「徹底したオーエスキー病抗体検査（秋田県では、初乳検査による汚染状況把握等）」を実施したことで、群馬県がやろうとしていることと同じです。それに併せて生産者が清浄化に対して「強い熱意」を持っていたからです。

Q 8 清浄化で得られるメリットにどんなものがありますか？

A 8 ワクチン接種の中止に伴う衛生費の低減と、肥育豚の複合感染症減少による事故率の低下があります。従って生産効率が改善する上に経費支出が抑えられ、イメージも良くなり経営的にはたいへんプラスになります。そして何よりも長い間苦しんだ疾病から解放されます。

Q 9 清浄化するのに手間と経費が掛かりますが、清浄化すれば取り戻すことができますか？

A 9 オーエスキー病を清浄化することによって、事故率が低下します。これによって、肥育豚の出荷頭数が増え収益性が増加します。事故率5%低下で試算(畜産協会モデル経営試算)すると、年間約75万円の収入増が見込めます。今後の経営改善に役立つと考えます。

参考：751千円＝6,354千円(事故率5%)－5,603千円(事故率10%) 《枝肉単価420円で試算》

Q 10 もしこのまま清浄化が達成できなければどのような影響がありますか？

A 10 オーエスキー病は免疫機能にダメージを与えて、慢性疾病の浸潤を助長しますので生産性低下を引き起こします。また、他の地域の清浄化が進む中で、清浄化に乗り遅れた陽性農場や地域には、豚の移動が厳しく制限されるようになります。つまり、有利な肉豚販売を行おうとしても、と畜場の選択にも支障をきたすことになります。

Q 11 ワクチン接種や抗体検査で多くの人が豚舎に出入りしますが病気の原因になりませんか？

A 11 家畜防疫員や関係者が豚舎に出入りする場合、車両等の消毒を徹底するとともに、作業衣などの交換や新しい使い捨て作業服を着用して、病原体の侵入及びまん延を防いでいます。受け入れ側の農場においては、農場専用の長靴や作業服を準備し、豚舎に入る際に着用してもらうことが重要です。

Q 12 オーエスキー病の侵入を防ぐため、豚の導入を安全に行うにはどうすれば良いですか？

A 12 オーエスキー病の侵入を防ぐには豚の導入だけでなく、精液についても気を付けなければなりません。従って、これらの導入は清浄段階にある地域からとします。導入した豚はおおむね3週間は隔離観察しますが、隔離観察開始の2週間後に抗体検査を受け、陰性（ワクチン抗体陽性）を確認します。

解説

清浄地域に導入する場合は、ワクチンを接種していない、かつ抗体陰性証明書が添付されている豚を導入します。浸潤地域では、ワクチン未接種豚の導入に際しては接種票あるいは指示によるワクチン接種を速やかに実施します。

畜産カレンダー

月 日	内 容	対 象	開催場所
2月3日	アニマルウェルフェア研修会（群馬県畜産技術連盟）	生産者・関係者	畜産試験場
2月5日	養豚基礎セミナー（群馬県養豚協会）	J A・農業事務所・生産者・県	畜産試験場
2月10日	試験研究機関成果発表会（畜産試験場）	生産者・関係者	県庁
2月15日	AD協議会	検討委員	J Aビル
2月19日	ウインターセミナー （群馬県養豚協会養豚経営者部会）	J A・農業事務所・生産者・県	渋川市
2月23日	酪農講演会（群馬県乳牛改良協会）	酪農婦人部	間屋町センター
2月26日	公共牧場アカバネ病予防接種実施	生産者	浅間牧場
3月3日	酪農ヘルパー全体研修会	酪農ヘルパー	渋川市
3月5日	肉用牛合同研修会	J A・農業事務所・生産者・県	J Aビル
3月8日	乳牛全共対策研修会	J A・農業事務所・生産者・県	畜産試験場
3月29日	群馬県 B & W（群馬県乳牛改良協会）	J A・農業事務所・生産者・県	畜産試験場

T-1グランプリ決戦投票中

「ようこそまえばしを進める会」主催の県内産豚肉料理の決戦が行われています。予選は59店舗が参加して昨年11月に覆面審査員によりおこなわれました。審査は料理の美味しさだけでなく、お店の雰囲気も含めた評価で6店舗に絞られ、2月28日まで決戦が行われています。投票は各店舗でエントリーメニューの食事をして、投票用紙にシール2枚以上を貼って投函することで、誰でも参加できます。投票した方には抽選で豪華賞品がプレゼントされます。

決勝進出店舗名とエントリーメニュー	
① 味の店 ゆたか 【豚めし】	② café&diningかんざし 【上州麦豚の石焼きうま辛角煮ごはん〜温玉のせ〜】
③ まえばし入口 楽（がく） 【麦豚なんばん】	④ そば処 大村 総社 【おそば屋さんのソースかつ丼】
⑤ Clover Piggys（クローバーピギーズ） 【和豚もちぶた美肌しゃぶしゃぶ】	⑥ そばひろ 【ソースかつ膳】

*群馬県養豚協会、群馬県食肉卸売市場も後援しています。豚肉の消費拡大に皆様のご協力をお願いします。

〈南関東4競馬場開催日程〉

(2010年2月～2010年3月)

2月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28			
曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日			
開催場	大井	大井	大井	大井	大井			浦和	浦和	浦和	浦和	浦和			船橋	船橋	船橋	船橋	船橋			川崎	川崎	川崎	川崎	川崎					
3月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
開催場	大井	大井	大井	大井	大井			船橋	船橋	船橋	船橋	船橋			大井	大井	大井	大井	大井			浦和	浦和	浦和	浦和	浦和			川崎	川崎	川崎

――編集後記――

皆さんお気づきですか？ 表題に『みんなの情報室』が前号から加わったことを。
2009年を表した漢字は「新」でした。行政から始まりさまざまな「新」がありました。
「群馬の畜産」も、新しい情報をどんどん発信し少しでも皆様のお役に立てればと追加しました。
畜産業を取り巻く環境は厳しさを増すばかりですが、編集委員一同がんばりますのでよろしく
お願いいたします。(編集長 真下理絵)